

緊急事態宣言が解除され、10日余りが経ちました。急激とも言える感染者数の減少に驚きを隠せないのですが、数字だけに振り回されることなく、引き続き感染防止対策を取りながら、旭っ子たちが楽しくのびのびと勉強できるように努めて行きたいと思えます。

残暑と言うには余りにも長引く暑さに閉口しますが、それでも朝晩の涼しさに、やっと秋が来たなと感じています。秋は、私たちがさまざまな活動をするのにふさわしい季節としてとらえられています。

まずは「勉強の秋」。平常日課による学習指導が行われ、先生たちは基礎学力の定着・向上を図りながら、児童が自らの考えを持ち、表現する力を高めるべく、研究授業をはじめとした授業の改善に取り組んでいます。また、放課後算数教室も計画的に実施しています。一昨年前までは松戸馬橋高校の生徒に來校してもらい、個別に指導してもらっていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて昨年度から中断しています。状況を見極め、可能な状況になれば再開したいと考えています。なお、日本の子どもたちの勉強に対する意識調査の一部について、10月号の学校だよりにて紹介していますのでご覧ください。

次に「スポーツの秋」。市内陸上記録会は中止となりましたが、陸上部の児童は朝・放課後の練習に熱心に取り組んできました。その成果を発揮する場として、校内で記録会を行うこととなり、種目ごとに担当の先生の指導を受けながら、記録の向上に励んでいます。また、11月下旬に行われる校内持久走記録会に向けて、11日（月）からは、体育の授業で練習が始まります。1年生は初めての行事ですが、最後まで走りきることを目標に、そして、2年生以上の児童には、昨年よりも自身の記録を越えることを目指して頑張りたいと思えます。



もう一つは「読書の秋」。ホームページの「学校の様子」にも紹介しましたが、このほど新刊本が入り、蔵書がますます充実しました。保護者の会の図書ボランティアの方々に書棚の整理をしていただいたり、図書室前の廊下に装飾を取り付けていただいたりと、本に親しむ環境を整えてくださいました。ボランティアの皆様、ありがとうございました。旭っ子たちには、読書の楽しさを味わい、心豊かに育って欲しいと願っています。

(角田)